

## 消防本部庁舎整備基本計画の概要について

大規模災害をはじめとする発災時の消火、救助など応急活動の中核となる新たな消防本部庁舎の整備にあたり、27年度は基本計画を策定し、必要な機能や配置計画等を整理しました。

本計画では、保土ヶ谷消防署を区内の市有地（保土ヶ谷区神戸町）に移転再整備後、その跡地に消防本部庁舎を整備することとし、現司令センター棟も改修して、本部庁舎の一部として活用します。

### 1 消防本部庁舎に整備する主な内容 ※写真はイメージ

#### (1) 大規模災害時に迅速かつ機動的に機能を発揮できる庁舎

- ・災害監視カメラやヘリコプターからの映像を活用して情報処理を行う消防本部運営室
- ・緊急消防援助隊等と本市が連携して災害対応にあたる関係機関執務室
- ・機動的な災害対応を可能にするヘリコプターの場外離着陸場



#### (2) 災害発生直後から消防本部機能が継続して十分に発揮できる庁舎

- ・建物や指令機器等の安全性を向上する免震構造の採用

#### (3) 来庁者が消防への信頼や安心を実感できる庁舎

- ・消防を身近に感じてもらうことができるSRや司令センター等の見学エリア



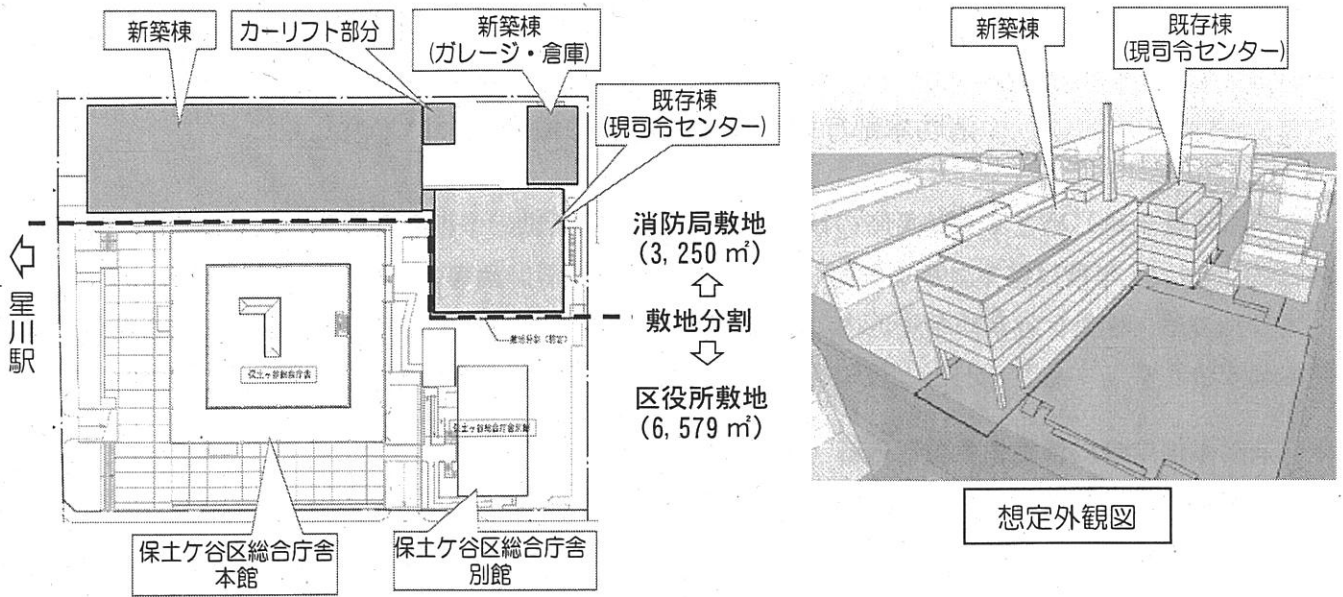
### 2 規模・配置計画

建築面積 2,280 m<sup>2</sup>

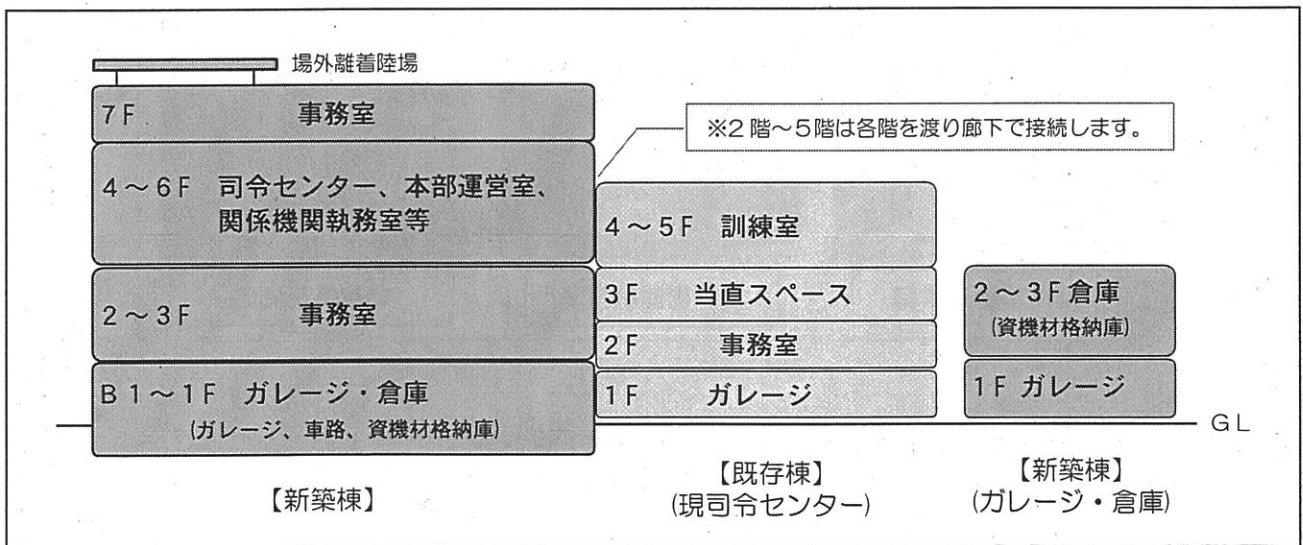
延べ面積 13,630 m<sup>2</sup>（新築部分 10,695 m<sup>2</sup>、既存部分 2,935 m<sup>2</sup>）

地上7階、地下1階

【消防本部庁舎 配置イメージ】



【消防本部庁舎 空間構成イメージ】



3 スケジュール (予定)

28年度は、保土ケ谷消防署の基本設計及び消防本部庁舎の設計に向けた検討を行います。

項目	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
消防署建設	基本設計	実施設計		運用開始				
消防署解体								
本部庁舎建設		基本設計	実施設計					

凡例：設計 ←---→ : 工事 ↔  
市会・WTO 手続 運用開始 既存棟(現司令センター)改修

【参考】

- ・27年12月 公共事業評価委員会※ (事前評価) ※委員は学識経験者で構成
- ・28年1~2月 市民意見募集